

1. 「災害に強い森づくり」(兵庫県パンフレット)

災害に強い森づくり

県民緑税の活用

～豊かな「緑」は県民共通の財産、みんなで支え、次の世代に引き継ぎます～

1 緊急防災林整備

急傾斜、斜面形状等で山地災害防止機能の高度森養が求められるおおむね45年以下のスギ・ヒノキ林を対象に、早期・確実に防災機能向上を図ることを目的として、間伐に加え、土留工の設置などの森林整備を実施します。

2 針葉樹林と広葉樹林の混交林整備

スギ・ヒノキ等の高純人工林の部分伐採を促進し、広葉樹やスギ・ヒノキを植栽することにより、樹種・林齢が異なり、水土保持能力が高く、公益的機能を発揮する森林に整備します。

3 里山防災林整備

集落の裏山を対象にした森林整備に併せて簡易な防災施設（柵工など）の設置や歩道整備を行います。

4 野生動物育成林整備

農作物被害や精神的・身体的被害が生じるなど、野生鳥獣と人とのあつれきが生じている地域において、人家等に隣接した森林の裾野を帯状に抜き切りし、人と野生動物との棲み分けゾーンを設け、森林の奥地に広葉樹林を整備します。

平成18年度から県民緑税をお願いします。

個人 年額8,000円(限行の個人県民税均等割の標準税率・年額1,000円に上乗せ)

法人 資本等の金額に拠り、年額2,000円～80,000円

TEL: 078-382-4142 FAX: 078-342-3854

災害に強い森づくり

取り組みます

★兵庫県では、従来の森林施策に加え、森林の有する多様な公益的機能に着目した「新ひょうごの森づくり」(H14～23年度)により、公的支援によるスギ・ヒノキの人工林の間伐や里山林の再生、森林ボランティア育成1万人作戦に取り組んでいます。

★森林は、本来、森のダムと称される貯水機能や土砂流出防止機能など、住民を自然災害から守る様々な機能を有しており、県民の共通財産ともいえる森林が、こうした公益的機能を十分発揮することができるようさらには、平成16年の一連の台風による、森林被害の実態から「災害に強い森づくり」を進め、県土の保全や安全・安心な生活環境の創出をはかります。



平成18年台風23号による里山の崩壊状況(神戸市田原)

兵庫県

六甲山系グリーンベルト整備事業とは？



『六甲山系グリーンベルト整備事業』は、現在の六甲山の状態を考えて、土砂災害から暮らしを守るために、また市民みんなが親しめる自然豊かな山にするために取り組んでいる事業です。

整備事業の4つの目標とは…

市街地に隣接し、市民の生活にも深く関わっている六甲山には、災害防止といった安全面はもちろんのこと、レクリエーションの場としての利用など、様々な機能が求められています。

この事業では、市街地に面する斜面を、とくに積極的な取り組みが必要となる区域として都市計画に位置づけるとともに、六甲山の樹林を整備することによって、右の4つの機能を目指して森づくりを行っていきます。

土砂災害の防止



土砂災害から暮らしを守ります！

都市のスプロール化防止



山際への無秩序な市街地の拡大を防ぎます！

良好な都市環境風致景観、生態系および種の多様性の保全・育成



良好な景観と自然環境を守ります！

健全なレクリエーションの場の提供



安全に自然と親しめる場の提供も目指します！

グリーンベルト整備事業対象区域

